

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 線維性間質性肺疾患の急性増悪における気管支肺胞洗浄液中
微小細菌叢の解析

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤 康博

[研究の概要] 線維性間質性肺疾患の安定期や急性増悪で施行された気管支肺胞洗浄検査において保存された検体を用いて微小細菌叢の解明を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年1月～2015年7月に公立陶生病院で特発性肺線維症を含む線維性間質性肺疾患と診断された症例のうち、2017年9月までに急性増悪を発症し、かつ気管支肺胞洗浄検査を施行された症例。

研究期間： 医の倫理委員会承認日から2020年7月31日

●利用する検体、カルテ情報

検体：気管支肺胞洗浄液凍結保存検体

カルテ情報：年齢、身長、体重、性別、喫煙歴、基礎疾患、血液検査結果（CRP、KL-6、SP-D、D-dimer、PaO₂/FiO₂）、気管支鏡検査所見、呼吸機能検査結果、画像検査所見（胸部HRCT検査）、治療内容等

●検体や情報の管理

気管支肺胞洗浄液凍結保存検体は、検体を測定する機関である Imperial College London に匿名化された状態で輸送・提出し、測定されます。測定情報は研究代表者機関である公立陶生病院に提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

・研究代表者（研究の全体の責任者）：

公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科 近藤康博

・その他の共同研究機関：

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座 呼吸器内科学 鈴木淳

Imperial College London Philip L. Molyneaux

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、外部に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である Philip L. Molyneaux 医師が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表予定ではありますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 近藤康博

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139